

## 川とともに生きる

(9)

飛騨・木曾川が合流するこの地域は、豊かな自然に恵まれ古くから文化が栄えました。最近も対岸の可児市でピラミッドを思わせる七世紀ころの大規模な方墳が発見されて注目を浴びるなど、古墳や集落跡が川に面して集中しています。

昨年夏、市内川合町地内で美濃川合発電所建設工事に伴う遺跡発掘調査が行われました。住居跡こそ確認することはできませんでしたが、縄文時代以降の土器、石器とともに多くの土壙どこうや集石が見つかりました。木曾川に面した調査区域は川砂に覆われ、遺構はそこに掘り込まれ



る形で残っていました。まさに岸辺付近まで生活に利用していたことがわかりました。

このたび、この川合川端遺跡の発掘調査報告書(B5判、28頁)がまとまりました。中央公民館にて一部五百円で販売しています。

今回、次の方々から貴重な資料を教育委員会に寄贈いただきました。ありがとうございます。

・小中学校教科書

(藤掛茂美さん／三和町)

・小中学校教科書

(朝日幸男さん／三和町)

・石器 三点

(渡辺志貴雄さん／下米田町)

・須恵器片ほか 約九十点

(佐合武さん／下米田町)

・米選機

(座馬貢司さん／清水町)

・縄文土器ほか 約三百点

(伊藤克司さん／牧野)

・下駄

(伊藤静子さん／三和町)

・下駄

(大谷好子さん／中富町)

近い将来の博物館建設に向けて情報や資料を集めていますので、市社会教育課(内線三六一)までご連絡ください。